

平成25年9月10日

2013 大沼ふるさとの森づくりの開催について

「ふるさとの木」から採取した種を使って苗木を育て「ふるさとの森」を再生することを目的とし、2000年から毎年開催している「大沼ふるさとの森づくり」は今年で14回目を迎えます。

国内外で数多くの植樹活動を指導している横浜国立大学 宮脇昭名誉教授の指導の元、「ポット苗づくり」「植樹活動」「育樹活動」といった、森づくり活動の一連の流れを体験できる内容となっております。流山温泉で皆様のお越しをお待ちしております。

(1) 開催概要

開催日	平成25年10月5日(土)
主催	大沼ふるさとの森づくりの会(JR北海道、JR北海道労組、NPO 法人大沼・駒ヶ岳ふるさとづくりセンター)
指導	大沼ふるさとの森づくりの会特別顧問 宮脇 昭 横浜国立大学名誉教授
後援	七飯町、七飯大沼国際観光コンベンション協会、大沼漁業協同組合、北海道放送株式会社、株式会社毎日新聞社
協賛	株式会社伊藤園、株式会社オンワード樺山、サッポロビール株式会社、全日本空輸株式会社、公益財団法人ニッセイ緑の財団、日本航空株式会社、JR北海道グループ

(2) スケジュールについて

10月5日(土) 森づくり開催日

9:30~10:15	「2013大沼ふるさとの森づくり」開会式
10:15~12:30	ポット苗づくり・植樹活動・育樹活動
12:30~13:30	昼食交流会(飲み物・食事をご用意しております)
13:30~13:40	閉会式

※10月4日(金) 16:30~17:30

流山温泉にて宮脇先生による、震災復興の取組みについてのお話がございます。

(3) 参加申し込み・お問い合わせ先

9月25日(水)までに下記連絡先へお申込み下さい。(土・日・祝日除く)

北海道旅客鉄道株式会社	開発事業本部	TEL 011-806-2104
	函館支社 企画グループ	TEL 0138-23-3359

2013 大沼ふるさとの 森づくり

みんなの思いが、小さなどんぐりを森へと育てます。

“森”は様々な命の源です。

木々だけではなく、多種多様な生物が生息する生態系もつくりあげています。

「大沼ふるさとの森づくりの会」では、ふるさとの森再生を目指し、今年もどんぐりを使った森づくりを行います。

自らの手でつくった苗が、みどりの森に生長していく姿を想像しながら、

あなたも「森づくり」に参加しませんか。



平成25年10月5日(日) 会場／流山温泉 亀田郡七飯町字東大沼294 (無料駐車場有)

参加料 無料 **参加方法** 9/25(水)迄に下記へお申し込み下さい。※昼食交流会のみの参加は出来ません。

その他 当日は汚れてもいい服装・靴でご参加下さい。軍手・移植ゴテは会場に準備しております。

スケジュール

開会式 9:30～

ポット苗づくり・植樹活動・育樹活動 10:15～

●将来の森を育むためのポット苗づくりと植樹活動を行います。

●過去に実施した植樹場所において育樹活動を行います。

指導／宮脇 昭

昼食交流会 12:30～

閉会式 13:30～

※10月4日(金)16:30～17:30

宮脇先生による震災復興の取組みについてのお話もごさいます。こちらも当日参加無料となっております。9月25日(水)までに下記へお申し込みください。



指導

宮脇 昭

横浜国立大学名誉教授

(財)地球環境戦略研究機関国際生態学センター長
(財)瓦礫を活かす森の長城プロジェクト副理事長



岡山県出身、広島文理科大学生物学科卒業。ドイツ国立植生園研究所で潜在自然植生理論を学び、横浜国立大学教授、同学環境科学研究センター長、国際生態学会会長などを経て、1993年より財団法人地球環境戦略研究機関国際生態学センター長、一般財団法人瓦礫を活かす森の長城プロジェクト副理事長、横浜国立大学名誉教授。1970年からの新日本製鐵の全製鉄所の防災・環境保全林形成をはじめ、国内で1,400カ所、海外では1990年から三菱商事等の協力によるマレーシアのボルネオ、ブラジリアマゾンの熱帯雨林再生プロジェクトを成功させると共に、中国の万里の長城、上海浦東新開発地の都市林形成、さらにアフリカのケニア、オーストラリアのタスマニアなど、国内外で1,700カ所以上の都市、産業、交通施設沿いの森づくりを先見性を持った企業、行政、NPOなど各団体と共に市民主役で土地本来の本物の森づくりを進め、現在まで4,000万本以上の木を植えている。身近では、1991年からイオン・ジャスコのショッピングセンター展開に際し、「イオンふるさとの森づくり」450店舗を指導し、現在もイオングループ全体での植樹を実施している。

2009年6月からは林野庁の依頼で、災害跡地等で国有林の潜在自然植生にもつづく土地本来の森の再生にも協力している。東日本大震災後にも、がれきを地球資源としてマウンドを作り、尊い犠牲者の鎮魂の弔いと被災者の未来への希望を込めた南北300kmのいのちの森づくりを提案、本格的なマウンドを被災地の防潮堤の背後に形成し、国家プロジェクトとして、国土と国民のいのちを守る宮脇方式の森の防潮堤形成が進められている。

2006年に国際地球環境賞の「ブループラネット賞」を受賞。大沼ふるさとの森づくりの会特別顧問。

■主 催：大沼ふるさとの森づくりの会(JR北海道、JR北海道労組、NPO法人大沼・駒ヶ岳ふるさとづくりセンター)

■後 援：七飯町 一般社団法人七飯大沼国際観光コンベンション協会 大沼漁業協同組合 **HBC** **毎日新聞**

■協 賛 **伊藤園** **ONWARD** **SAPPORO** **ANA** **公益財団法人 ニッセイ緑の財団** **JAL** **JR**



お問い合わせ・お申し込み先 [土・日・祝日は除く]

大沼ふるさとの森づくりの会事務局

JR北海道 開発事業本部 TEL(011)806-2104

JR北海道 函館支社 企画グループ TEL(0138)23-3359